

水道キャラバン



9月15日に水道キャラバンによる2回目の出前授業を受けました。普段あまり目にする事のない下水道が、自分たちの生活とどのような関わりがあるのかを学びました。水をろ過する実験では、汚れが沈殿したあと、上の部分のきれいな水だけをゆっくりと新しいビーカーに移しました。この授業を通して蛇口をひねれば当たり前のように出てくる水の大切さに気付くことができました。

校外学習



社会科・総合の授業では、水害から身を守るために町の中にはどんな対策がなされているかを学ぶために学校の周りを歩きました。電柱に貼ってある想定浸水深表示板や多摩川の堤防を観察し、それがどのような役割を果たしているのか理解を深めました。